

特集 高齢者の姿勢と生活障害

加齢による姿勢変化の生理学的要因	山田 実, 他
高齢者の姿勢の特徴と生活障害	吉川和徳
加齢に伴う立位姿勢の変化と歩行障害	高井逸史
高齢者の姿勢制御能力の低下と転倒	小栢進也
高齢者の車椅子座位姿勢とシーティング	木之瀬隆
高齢者の臥位での姿勢と姿勢変換	下元佳子

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名譽顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 金子 寿
川越雅弘 木下康仁
桑山浩明 小林直樹
齋藤正洋 榊原次郎
座小田孝安 佐藤久夫
鈴木孝治 武原光志
玉垣 努 角町正勝
土井勝幸 野尻晋一
橋本美芽 長谷川幹
畑野栄治 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
金城利雄 阪井康友
澤 俊二 野崎園子
備酒伸彦 松坂誠應
水間正澄

●編集後記

昨年(2016年)から今年にかけて小池百合子東京都知事の話がテレビや新聞などのマスコミでよく取り上げられています。2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックや築地市場の豊洲への移転問題などがマスコミを騒がせています。小池知事のオリンピックに関する会見などで「レガシー(遺産)」や「ワイズ・スペンディング(賢くお金を使う)」などの横文字の言葉が多用されていて、意味がよくわからず、日本語のほうの方がわかりやすいのではと感じたのは私だけでしょうか。日本語の乱れも相まって、こういった言葉の問題が気になるところです。

横文字の日本語といえば、医療や福祉の分野でも昔からかなり使われており、しっかりと定着した表現もありました。しかし、一方で理学療法士、作業療法士や言語聴覚士といった、いわゆるセラピストが横文字の専門用語や略語を多用して、閉鎖的な領域を作ってチームワークを阻害してきたのではといった問題も指摘されたこともありました。電子カルテの普及やカンファレンスの充実、チーム意識の向上にともなって、このような傾向はすいぶん修正されてきているように思います。

かつて、画期的な制度改革としての介護保険制度の新設にあたって、その準備段階において当時、厚生大臣だった小泉純一郎氏の厳命によって介護保険のサービスの名称について横文字は極力使用せず、日本語の表現にしたというエピソードを聞いたことがあります。かつてなじんでいたホームヘルパーは「訪問介護」、デイサービスやデイケアはそれぞれ「通所介護」「通所リハビリテーション」となり、当初はかなりの違和感を覚えた記憶があります。しかし、どうしても日本語にできなかった横文字が「ケア」と「リハビリテーション」であったと聞いています。期せずして、これからの地域を考えていく場合にこの「ケアとリハビリテーション」が重要なポイントになってきているとも言えます。

さて、今回の特集は「精神疾患への在宅支援」で、精神疾患患者への支援はこれからの重要な課題であり、特に日本においては病院に収容して治療することを主流として発展してきました。しかし、精神病院をゼロにして地域で支援する方向に移行したイタリアの実践に見られるように、在宅でのさまざまな支援の充実を通じて、地域で精神疾患患者を支えていく仕組みづくりが期待されます。ここでも「ケアとリハビリテーション」の視点が重要視されていくと思われます。

編集委員 伊藤隆夫

第12巻第2号[通巻131号] 2017年2月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 2月号

1部定価(本体1,800円+税)
2017年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2017, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株) メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。